

5 7. 言語聴覚学科 50 周年記念の集い開催への取り組み

学院 言語聴覚学科

下嶋哲也 小野久里子 坂田善政 成田あゆみ

【集い開催のねらい】

当学科は、1971 年に国立聴力言語障害センター附属聴能言語専門職員養成所開設に由来し、卒業生や関係者ととも 10 年の節目ごとに記念行事を開催してきた。2020 年は 50 年目にあたり、大きな節目を迎えた。

同年、新型コロナウイルス感染拡大が始まった。参集型の記念行事は開催困難となり、養成・研修事業も大きな影響を受けた。学院内ではオンライン授業や PCR 検査、“新しい生活様式”や感染防止の徹底維持にかかる業務も増えた。数カ月ごとに訪れる感染拡大の波と予測不可能な社会状況からみて、50 周年を祝う記念行事を開催する状況ではなかった。

しかし翌年、この困難な状況の中だからこそ、設立 50 周年を何らかの形で発信し、学科の歴史を振り返り、多くの卒業生・関係者に感謝の意を伝えるとともに学科の現状を伝える企画が必要と考えた。2020 年当初は感染拡大防止策を講じて参集型の記念行事を開催す企画であったが、感染拡大の波は来るたびに大きくなり収まる様子が見られなかったため、コロナ禍での対応として急遽学院に導入されたオンライン授業の通信インフラと学科教官のオンライン授業技術を生かし、動画配信の形で記念行事を開催することにした。

【開催への取り組み】

①工程表作成・シナリオ作成・通知対象名簿作成 ②動画出演依頼（厚生労働大臣（代読）・センター総長ほか総数 20 名＋在校生） ③インタビュー等の録画・コンテンツ作成・画像音声編集 ④関係者・卒業生への郵送および E メールによる動画配信についての通知（非公開 URL）、対象約 1500 名 ⑤動画配信（2021 年 12 月 12 日～2022 年 3 月 31 日）

【結果】

編集動画は予定（1 時間 40 分程度）を大幅に上回る 2 時間 20 分程度となった。配信は予定通り 2021 年 12 月 12 日に開始した。アクセス数は 1 月末で 1000 を超え、3 月上旬には 1100 アクセスとの記録があった。3 月末に配信を停止し、4 月に削除した。視聴者からは、懐かしくもあり、今はこんな風になっているんだと新しい気持ちで見させていただきましたなどの感想が寄せられた。

【考察および反省・今後の課題】

アクセス数は実際の閲覧人数と一致するとは限らないが、相当数の関係者・卒業生が閲覧したと考えられる。反省事項として、予定通り動画を削除したが、同時にアクセス数の記録も削除されたため、アクセス履歴の記録が残らなかったことがあげられる。

郵送や E メールで周知し、動画を配信するという今回の経験を、学科の広報・発信に生かす道を考案することが今後の課題である。